

令和 5 年 9 月 議 会 定 例 会 議 案

市 長 提 案 理 由 説 明 要 旨

(令 和 5 年 9 月 7 日 提 出)

新 潟 市

本日提案いたしました議案の概要につきまして、説明を申し上げます。

議案第 50 号から第 52 号は、一般会計のほか 2 会計の補正予算です。

初めに、一般会計の主な内容について申し上げます。

まず、光熱費・物価高騰対応分についてです。

高齢者施設や障がい福祉施設、児童福祉施設など、光熱費の負担が増加している各福祉施設の業務継続を支援するほか、

農業者が行う遠赤外線乾燥機の導入など、省エネルギー化に向けた取組の支援のための予算を増額します。

また、航空需要の本格回復を見据え、エネルギー価格等の高騰の影響を受けている新潟空港ターミナルビルの運営継続を支援するとともに、早期の国際線就航を推進するため、地上業務要員の確保を支援します。

次に、現下の経済情勢に対応するための、当面の取組分といたしまして、

産業の各分野では労働力の不足が喫緊の課題となっており、従来、人の手で行っていた既存の業務を代替する機器の導入等を支援するほか、

資材価格高騰により経営への影響を受けている小規模工事業者に向けて、道路や公共施設などの維持補修や、住宅の断熱改修などを支援する^{けんこう}健幸すまいリフォーム助成事業の予算を増額します。

その他の主な補正分としては、

新型コロナウイルス感染症対策協力基金を活用して、救急隊員が感染症を想定した訓練を行うための高度シミュレーターを整備し、感染再拡大や新たな感染症に備えます。

また、寄居コミュニティハウスを旧大畑少年センター跡地に移転整備するため設計を進めるほか、結婚新生活支援補助金の予算を増額します。

このほか、戸籍情報システム等の改修や、後期高齢者医療に関する負担金の精算などを行うものです。

国民健康保険事業会計では、産前産後期間相当分の保険料の免除に対応するためのシステム改修を行い、

介護保険事業会計では、過年度に受け入れた交付金の

精算を行います。

以上が、補正予算の主な内容ですが、先般、市税の当初賦課^{ふか}を行ったほか、普通交付税額が決定しましたので、この機会に今年度の財政状況について説明申し上げます。

市税については、現在の課税状況から推計しますと、当初見込みに比べて、個人市民税の増加が見込まれ、法人市民税が減少するものの、市税全体としては、予算計上額を若干上回る見通しです。

普通交付税と臨時財政対策債をあわせた実質的な普通交付税額は、当初予算額を 15 億円余り上回りました。

今後とも、光熱費等高騰など、本市を取り巻く経済社会情勢の動向を注視し、的確に対応してまいります。

次に、一般議案の概要について、説明いたします。

議案第 53 号は、老朽化や代替施設の整備が進んだことを踏まえ、新津地区市民会館を廃止するものであり、

議案第 54 号は、法律の改正等に伴い、印鑑登録証明書の交付に関する規定を整備するものです。

議案第 55 号は、山潟中学校の敷地内に山潟コミュニティハウスを設置するものであり、

議案第 56 号は、西川体育センターにトレーニング室を設置することに伴い、関連する規定を整備するものです。

議案 57 号は、中野山ひまわりクラブ及び真砂ひまわりクラブの移転に伴い、関連する規定を整備するものであり、

議案第 58 号は、旅館業法の改正に伴い、事業譲渡による承継の承認申請手数料を定めるものです。

議案第 59 号は、省令の改正等に伴い、蓄電池設備に係る規制や基準を見直すなど、関連する規定を整備するものであり、

議案第 60 号は、土地区画整理事業に伴い、^{まちあざ}町字の区域及び名称を変更するものです。

議案第 61 号は、市道路線の認定及び廃止について、議会^{はか}にお諮りするものであり、

議案第 62 号は、固定資産評価審査委員会委員に、再び^{ほんま}本間^{ていこ}禎子氏を選任することについて、議会の同意を得ようとするものです。

議案第 63 号は、主要地方道新潟中央環状線道路改良工事の契約の締結について、

議案第 64 号は、新潟駅万代広場シェルター等建設工事の変更契約の締結について、議会の議決を得ようとするものです。

議案第 65 号及び第 66 号は、下水道事業会計及び水道事業会計における令和 4 年度未処分利益剰余金の一部について資本金への組み入れを行うものです。

議案第 67 号は、下水道事業、水道事業、病院事業の各会計における令和 4 年度決算について、監査委員の意見をつけて議会の認定をいただこうとするものです。

以上、提案いたしました議案について、説明申し上げました。よろしくご審議賜りますよう、お願い申し上げます。

最後に、お手元に配布されております報告資料について、この場をお借りし、一言申し上げさせていただきます。

昨年度をもって、新潟市総合計画「にいがた未来ビジョン」の計画期間が終了したことから、これまでの8年間の主な取り組みと成果について、議長へ報告いたしました。

「にいがた未来ビジョン」の策定から推進まで、市議会の皆さま方からご参画いただきましたことについて、厚く感謝申し上げます。

この「にいがた未来ビジョン」の成果と課題を踏まえながら、今年度からは「新潟市総合計画^{にーゼロさんゼロ}2030」のもとで、将来にわたって心豊かに暮らせる新潟市を築いてまいります。

引き続き、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。